

始めに

時が経つのは早いもので、こちらに来てから半年が経ちました。こちらの状況は、サンクスギビングの前日の夜に初雪が降り、一気に冷え込んだ感じがします。また、サンクスギビングも終わり、街中はクリスマスムード一色になりました。あちこちの家や寮では玄関前にデコレーションを施していました。我々日本人からは、気が早いと感じられると思いますが、アメリカではこれが普通だそうです。

来週にはもう学期末の最終試験があり、これが終わり次第、冬休みに突入です。今月の報告書では、各教科についての総評を行いたいと思います。以下にそれぞれの教科について説明していきます。

ESL113

この授業は、レポートやエッセイの書き方を学ぶ授業でした。この授業は大学側から必須として履修するように言われていた授業ですが、我々交換留学生は必ずしも履修しなければならないということは無いようです。講師は大学院生であり、授業が始まった当初は講師の方もどのようにして教えたらいかがか解っておらず、我々も何を学んでいるのか解らないことがありました。おそらく、アジア人が大半を占めており、授業の雰囲気や我々の授業態度で戸惑ったのだと思われる。しかし最終的には、英語での文章構成法を学ぶことができたのでよかったです。

授業内容は、自国とアメリカの比較・映画の内容について・死刑法について・自分の将来像についてという4つのトピックで、アウトラインから結論までの書き方を学びました。文法などについては問題が無いのですが、単語力が不足しているため、辞書無しでは書き上げられないという問題点が再認識できました。

個人的な意見ですがこのような文章を書くことを学ぶための授業は我々の学校でも修学基礎能力演習という形であると思いますが、我々の学校では工学専門実験などでレポートを書くことが多いため、専門実験の授業と平衡して教える方が、効率が良いのではないかと思います。

ESL510

この授業は英語の発音および会話法を学ぶ授業でした。学校側から推奨科目として言われていたので取ることにしましたが、私にとっては非常に有益なクラスでした。自分の悪い発音部分に重点をおいて修正を加えてくれるという点です。アメリカ人の友達が言うには、アジア人の発音はアラビア系の人たちに比べれば良いらしいのですが、会話にイントネーションやリズム感が無いので理解しにくいと言っていました。従って発音はもとより、会話の中でもリズムやイントネーションを気をつけなければならないことを始めて知りました。

この授業の成果が現れたと感じられたことは、レストランで食べ物をオーダーするときに、初めのころは一回で相手に通じず、聞き返されることが多かったのですが、最近は聞き返されなくなったということが、この授業の成果が出たのかなと感じられることでした。

KOL201

韓国語の授業です。ハングル語の難しさ、および英語で授業を受けることの難しさを痛感した授業の一つでもあります。ハングル語は読むこと・話すこと・聞くことは出来るようになりましたが、漢字や英語と違い、まるで記号のように見え、似たような発音が多いためハングル語自体を書くことが出来ません。授業の雰囲気は少人数であるため非常にフレンドリーで楽しい授業でした。次の学期も継続して習うことにしたので書くことを重点において、頑張ろうと思います。

EALC250

当初は、日本の歴史・文化・経済についての授業なので非常に簡単であろうと思っていたのですが、自国の文化を英語で語ることの難しさを痛感しました。初めて聞くような単語や、日本語でしか表現できないと思っていた言葉が英単語で表現され、自分にとってはかなり新鮮に感じられた授業でした。授業内容は講義がメインですが、レポートの提出が義務付けられており、それにより、授業に出席しているか、していないかが分かるようになっていました。レポートですが数週間分の授業内容を出題されたトピックに沿って説明および自分の意見を約5、6ページ分書くという内容です。

個人的な感想としては授業内容も決して退屈なものではなく、教授の講義も非常にユーモアがあり面白いものでした。ただ、受講人数が200人以上であるため、すべての質問を処理しきれないような感じが否めませんでした。しかし、日本について興味を持っているアメリカ人が多くいることに驚きを感じました。

総評

今回は自分の専門分野の授業を一切取らず、語学系の授業のみを履修し英語能力の改善に努めようと思いました。結果としては英語能力のほうはごくわずかですが上達したのではないかと感じられる部分もあったのでよかったです。ただ、Speakingの方に関しては、授業内容の質問や討論などではまだまだだと感じる事が多くありました。

来学期の授業についてですが、専門分野の授業をとることと工大では学べないような工学に関する授業を履修しようと考えております。

今月を振り返ってみて

今月は、サンクスギビングという1週間の9日間の休みがありました。この休み期間中にはほとんどの学生は実家に帰省するということを聞いていたのですが、実際に Champaign-Urbana の街中には、ほとんど人が居らずものすごく静かでした。休みの期間中には IEI の時の先生が自宅でのディナーパーティーに誘ってくれ、サンクスギビングの伝統料理をご馳走になりました。

また、12月3日には、石川憲一学長・札幌順教授の一行が、イリノイ大学に協定の契約のために訪れ、我々、派遣留学生3人に激励をいただきました。どうもありがとうございました。この場を借りてお礼を申し上げます。12月13日からは学期末最終試験があるので、それに向けて頑張ろうと思います。